

## 社内紹介コース

近年、新聞やニュース等でも情報流出事件や事故が多く報道されています。情報が流出した場合、企業の信用は失墜し、ビジネスに悪影響を及ぼします。皆様はどのような情報セキュリティ対策を行われているのでしょうか。



今回は、永田会計の情報セキュリティ対策について一部ご紹介します。

- ① 外部へデータを持ち出し、又は、外部からデータを持ち込むときには、指紋認証付きのUSBを使用し、もし紛失した時にもデータを見ることができないようにしています。
- ② メールを送る際、添付データがあるときは、1人で送るのではなくチェック者が内容と送り先を確認しています。
- ③ ネットワーク監視ソフトによって履歴をとり、誰がいつどのような操作を行ったかわかるようにしています。
- ④ ウィルス対策として、取り込み時に必ずウイルスチェックをかけています。
- ⑤ 以上の対策によっても内部者の紙による持ち出しや口頭での情報流出には対応できないため、従業員及びその同居の家族と守秘契約を結び、違反した場合には損害賠償義務を課しています。

## セミナーのご案内

2月の改正税法セミナーを受講して頂いた方の多くからご要望がありましたため、6月に成立した改正法への対応をさらに詳しく、弊社代表の永田が解説する「改正税法セミナー具体策編」を企画しました。

「今、どのように対応すべきなのか？」私どもと一緒に考えになりませんか。

日時 平成23年10月21日

14:00~16:00

場所 永田会計ビル4F さくらホール

募集数 50名

参加費 3,000円(消費税込)

## 経営に役立つメールマガジン

永田経営グループでは、定期的に皆様のお役に立つような記事をメールマガジンでも発行しております。

経営、労務、税務、会計、マーケティング、業種別情報等様々な情報を提供させていただきます。全て2、3分程度で読め、役に立つ情報です。

すぐ読め、すぐ実践していただける内容ばかりです。ぜひ、ご覧ください。

なお、配信ご希望の方は、以下のアドレス宛に空メールを送信してください。

パソコン用メールアドレスのみとなりますので、ご了承ください。

[mm@nagatakaikei.co.jp](mailto:mm@nagatakaikei.co.jp)



## 感情に注目したコミュニケーションを心掛けよう

診察の際、説明をした後に「何か質問はありますか？」と聞くことはよくあります。

中には「いえ、特にありません」としか答えない患者さんはいませんか？そんな患者さんには「どのように感じましたか？」と感想を聞いてみることをおすすめします。

そうすることでコミュニケーションがより密接になり、適切な治療ができるでしょう。

### ● 治療中の感情ベースは不安にある

「何か質問は？」と聞いても、何も聞いてこない患者さんは少なくありません。しかし、そんな方でも当然、感情はあります。

恐らく「つらかった」「大変でした」「心配でした」というような、ネガティブな感想が返ってくるでしょう。

こうしたネガティブな感情のベースは「不安」にあります。

病院にやってくる患者さんは、必ず大なり小なり不安を抱えています。

医師に指導や説明を求めるのはもちろんですが、それ以上に不安の解消を期待しているのです。

感情は言葉で発せられるものだけではありません。

治療中の表情からも、いろいろなサインが発信されているのです。

そんなときも「痛いですか？」「つらそうですね」と声をかけることが大切です。

患者さんとのコミュニケーションは質もさることながら量も大事。

まずは、患者さんの感情に注目してみると、コミュニケーションが促進されます。

